わが町
志津南
NEWS

みんなで考えよう
緑豊かな町づくり

発　行
志津南地区自治連合会
事務局：志津南公民館
Tel　563-6206

まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

地域安全連絡協議会が発足

安心して暮らせる町づくりめざす

7月3日 設立総会

設立総会（若草第5集会所）

犯罪のない安全な町づくりをめざす志津南地区地域安全連絡協議会の設立総会が7月3日、若草第5集会所で開かれました。

同協議会は、自治連と各種団体が個々に行っている犯罪のない町づくり活動を一本化し、より効果的に展開しようという狙いから設立されたものです。

草津市は、住民が安全に暮らすことができる社会の実現を目指して、小学校区単位で自主的に安全な町づくり活動に取り組んでいる団体を対象に補助金を交付することとし、平成15年度から3カ年計画で全学区・地区に地域安全連絡協議会を設置する事業を進めています。

昨年度は玉川・草津の2学区が設置し、今年度は新たに4学区で設置が計画されており、志津南地区以外の学区でも設置の意向を固めておられます。

当地区では補助の対象となる活動の大半は、各種団体において既に取り組んでいるところですが、団体間の連携がいまひとつで、活動面でチグハグになっているところも見受けられることから、調整機関の必要性が指摘されていました。

また、最近は忍び込み犯による被害が多発し、警備の強化、自主防犯の啓発、関係機関と連携した防犯活動が、より一層強く求められています。

このような状況から、自治連が関係諸団体に呼びかけて志津南地区地域安全連絡協議会を立ち上げ、防犯活動機材の整備、その効果的な活用とあわせ防犯活動の充実強化を図ることにしたものです。

犯罪のない安全な町づくりには、地域住民が一体となった自主的な防犯活動の展開が不可欠です。地域ぐるみの自主防犯活動への理解と積極的な協力をお願いします。

なお、協議会には活動の趣旨に賛同される方は、団体・個人を問わず参加していただけます。気軽に志津南市民センターまでご連絡ください。

▽協議会の構成メンバー
自治連合会会長
社会福祉協議会会長
青少年育成区民会議会長
志津南小学校長
志津南小学校ＰＴＡ会長
高穂中学校ＰＴＡ代表
志津南子ども会会長
交通安全会会長
交通安全協会支部長
老人クラブ連合会会長
少年補導委員会委員長
民生児童委員協議会会長
自治連交通防犯担当理事
草津警察署

▽協議会の役員
会　長　小野　栄祐
副会長　滝井　紀男
会計兼事務局長　妹尾　志郎
幹　事　槙　系
同　中地　耕一
監　事　林　茂
同　奥田　隆三

志津南が最優秀賞を受賞

草津・栗東地区の交通安全活動で

表彰状（志津南公民館）

さる5月31日、草津市役所で開かれた草津・栗東地区交通対策協議会（会長伊庭嘉兵衛草津市長）の席上、志津南地区の事故防止啓発運動が評価され、最優秀賞を受賞しました。

この賞は平成15年度の一年間において交通事故防止活動を積極的に推進し、交通安全の意識向上に取り組んだ地区に贈られるもので、草津・栗東21学区の中から表彰されました。

今年4月に大役を仰せつかった際には「十数年前とは随分様子が違うものだなあ…」と戸惑いましたが、2カ月余が過ぎた今、これまでの役員の方々のご尽力に改めて感謝する次第です。

受賞を機に、今年度も地域の防犯活動や交通安全対策にお役に立てるよう一層努力致したいと考えています。

なお、表彰状は公民館に掲示されています。

（交通安全会会長　鍛冶真理子）

環境講座

ホタルを見に行こう！

公民館に集まった参加者たち

地域の環境を学ぶ環境講座「ホタルを見に行こう」が6月12日に開催され、家族連れを含めた165人が参加しました。

まだ明るさの残る午後7時、志津南公民館前に集合した参加者は現場の伯母川に向かう前に、「若草の自然とともに」のメンバーである菊池治徳さんからホタルの習性などについて話を聞きました。

菊池さんによると、伯母川一帯には主に体長約20㎜の源氏ボタル、約10㎜の平家ボタルが生息しているそうで、その特徴やオスメスの見分け方などを絵や写真を交えて解説していただきました。

伯母川に到着し徐々に陽が暮れると、川岸の茂みにちらほらとホタルを確認することができました。大乱舞とはいきませんが、時折り見せる源氏ボタルと平家ボタルの大小2種類の青い光に歓声が起こっていました。

菊池さんの話では、世界中で二千種ともいわれるホタルのうち、伯母川にすむ源氏ボタルや平家ボタルのように、幼虫期を水中で過ごす種類は日本のほかにはアジアの一部にしか存在しないそうです。また成虫になる過程で陸地にあがるため、川の汚染や人工河岸によってホタルの住める場所が限られてきているということです。

今回の「ホタルを見に行こう！」で、私たちが世界のわずかな地域でしか見ることのできない源氏ボタルや平家ボタルとともに生活していることを実感し、身近な自然環境について考えるきっかけにしていただきたと思います。

（志津南公民館）

防犯パトロールを実施

交通防犯部

「地域の安全は大丈夫か、暗闇になる所は」など、交通防犯部は6月20日夜、地域全域の防犯パトロールを行いました。

防犯灯の点灯確認や、暗闇で危険な所はどこかなどを丹念にチェック、地図上にマーキングしました。

特に山手幹線やかがやき通りでは、街路樹の枝葉が照明を遮断し歩道が暗かったり、電柱のない所が広範囲で暗すぎる所が何カ所かあり、防犯灯の増設や街路樹の剪定の必要性などが指摘されました。

想像していた以上に問題点があり、通学路の安全を最優先に早急に対策を検討することにしています。

（交通防犯担当理事　橋本　優）

丹念にチェック

町内一斉清掃

福利環境部

恒例の夏祭りを前にした7月4日、町内の一斉清掃が午前8時から各公園や周辺の緑道を中心に行われました。

総勢600人が約2時間、伸びた草木の刈り取りなどに汗を流し、安全と美化に取り組みました。

今回は特に安全に配慮し機械作業と手作業に時間差をつけ、事故防止に工夫しました。

また、各町内やボランティアの方が事前に草刈りや剪定を行ってくださったお陰で清掃時間も短縮され、参加者から感謝の言葉が聞かれました。これで気持ちよく夏祭りを迎えられます。

（福利環境担当理事　上野　博）

子どもたちも熱心に（岡本町西）

スポレク祭・3種目に出場

ワン・ツー・シュート競技で優勝飾る

6月8日に野村運動公園で開催された第6回草津市スポレク祭（草津市体育振興会主催）の学区対抗戦に志津南地区から大縄跳び、ペタンク、ワン・ツー・シュートの3競技に5チームが参加しました。

ワン・ツー・シュートは19チーム、ペタンクは20チームのトーナメント方式で争われ、ワン・ツー・シュートでは若草ほのぼのチームが見事優勝、ペタンクでも若草わくわくチームが準優勝するなど立派な成績を収めました。大縄跳びは奮闘もむなしく入賞は果たせませんでした。

優勝の若草ほのぼのチーム
（ワンツーシュート競技）

準優勝の若草わくわくチーム
（ペタンク競技）

志津南子ども会
（大縄跳び競技）

町のシンボル、化粧直し

炎天下で化粧直し作業

風雨にさらされ、色があせてしまった志津南公民館前の町のシンボルモニュメント「ひと・まち・ゆめ」の化粧直しが6月16日午後1時から行われました。

町づくり委員や地域ボランティア、公民館職員ら8人が炎天下に高いはしごに上り、防腐剤や色ペンキで再塗装（写真）、元の姿を取り戻しました。

平成14年に完成したこのモニュメントは、月日の経過とともに色あせ元気をなくした感じでしたが、元通り美しくなり来館者からも好評を得ています。

（志津南公民館）

男女とも1丁目が制覇

第7回ソフトバレー大会

女子の優勝戦（1・2丁目の対決）

体育振興会主催の第7回ソフトバレーボール大会が6月20日、志津南小学校体育館で開催されました。

当日は、台風前の不安定な天候にもかかわらず、多数の方々が参加、例年にも増して熱い戦いが繰り広げられました。

ソフトバレーボールは1チーム4人制。普通のバレーボールより少し大きめのゴム製の軟らかいボールを使います。

このスポーツは、年齢や経験に関係なく楽しめ、日頃運動をしていない方でもすぐにゲームに入れます。

今大会も大いに盛り上がり、一つのボールを追って町内が団結、また町内を越えたつながりも持てた一日でした。

体育館内が応援の熱気に包まれるなか、各町の選手たちはTシャツが絞れるほどの汗をかいていました。

上位入賞の選手の皆さんおめでとうございます。また、それ以外の皆さん、来年はぜひリベンジを果たしてください。

成績は次の通りです。

▽男子の部
優　勝　若草1丁目
準優勝　若草6丁目
3　位　若草2丁目

▽女子の部
優　勝　若草1丁目
準優勝　若草2丁目
3　位　岡本町　西

（体育振興会　平井孝志）

くらしと健康

寝たきりにならないために ③

骨粗鬆症に有効な納豆

今日は納豆の話をします。東京生まれの私は納豆が大好きです。が、滋賀県に転居してきた時「あんな臭いモノをよう食べる」と滋賀医大の前教授から奇異の目で見られました。

骨粗鬆症と納豆はどう関係するのでしょうか。

実は納豆にはビタミンKが豊富に含まれています。そしてビタミンKは骨吸収を抑制したり、骨折を予防する効果があると言われているのです。例えば脊椎圧迫骨折患者の血中ビタミンK濃度は骨折のない人より低いことが知られています。

また、大腿骨頚部骨折の県別の発生数を見ると、一世帯あたりの納豆の消費金額の多い県ほど少なくなっています。

東京の女性（半数が週2回以上納豆を食べる）の血中ビタミンK濃度は、広島の女性（9割以上が週1回未満）の5倍、ロンドンの女性（全く食べない）の15倍も高くなっています。

一方、大腿骨頚部骨折の頻度は高い順にイギリス、広島、東京です。

つまり、ビタミンKの摂取量が多いほど、大腿骨頚部骨折のリスクが減少するというわけです。

なお、ビタミンKは、納豆のほか、緑色野菜の葉の部分、肉、卵、乳製品からも摂取できます。

ただし、心臓病でワーファリンという血液凝固阻害薬を服用している方は、納豆は逆効果になりますので避けて下さい。

ちなみに前述の教授は滋賀県に20年以上住みながら、やはり「臭いから」と鮒寿司も食べたことがないと言っていました。

余談になりますが、私は鮒寿司も大好きですし、焼くと強烈な臭いを発する伊豆諸島名物のクサヤも大好きです。

（若草診療所整形外科　宮原健一郎）

みんなの広場

一斉清掃に思う

先日、町内一斉清掃も終わり、みなさん大変ご苦労さまでした。町をみんなで美しくする、とても気持ちのいいものです。

親子で草引きするほほえましい光景や、奥さま方のおしゃべりの声も楽しそうです。

でも、ちょっと気になることがあります。それは大勢で除草作業をしている中で、草刈り機を使っていることです。至近距離の所に作業をしている人たちがいる。もし空き缶や小石が飛んで当たりでもしたら大変なことになるでしょう。

そこで、例えば草刈り機の入るエリアをあらかじめ決めておき、他の人は離れた所で作業するなどしてはどうでしょうか。また人手で刈った後に草刈り機が入るなど、効率の悪い所もあったように思います。

便利な機械を安全にうまく使いこなす工夫をしてほしいと思います。

自分たちの町をみんなで美しくすることは、いろんな意味で有意義なことだと思いますが、安全という点から一考すべきではないでしょうか？

（8丁目　H）

若草にゴルフ同好会誕生
「グリーンクラブ」
8月に第1回コンペ開催

若草のゴルフ好きが集まって、このほど同好会を結成、8月に開催する第1回コンペの参加者を募っています。

同好会の名は「グリーンクラブ」。

もともとは、テニスクラブの余興として始まったもので、これまでに14回のコンペを開催しています。

ところが、回を重ねるごとに同クラブ以外の参加が増えたことから、クラブの枠を撤廃、全町的な同好会として再出発することにしたものです。

高齢化が進み、町内交流のウェートが高まるなか、上手も下手もしゃかりきになることなく、和気あいあい、へらずロを叩き合う。言葉を交わしたこともない人たちと顔見知りになるいい機会です。

ゴルフが取り持つ新しい絆づくりに、ふるってご参加下さい。青山地区の方も大歓迎です。

第1回記念コンペの開催要領は次の通りです。

▽とき　8月14日（土）
▽ところ　大甲賀CC神コース（9時スタート）
▽プレー費　一万一千円（食事、参加費別途）

申し込みは、代表世話人の田中優（5丁目）まで、電話またはファクスで。電話・ファクスは565の0335。携帯は090の7363の7411です。

サークルはりきっています

ソフトボール

熱いドラマの主人公

白球が青空に舞う。周囲の音が消え時間が止まる。訪れるクライマックス。

どよめきが起こり歓声がわき、ため息が漏れる。

一球に笑い、一球に泣く熱いドラマの主人公たちがわが「若草ソフトボールクラブ」です。

約18年前に若草住民の親睦を深める目的で有志が集まり素人ばかりのチームが結成されました。

2年後にはチームの力を試したく滋賀県ソフトボール協会に加盟しましたが、協会のチームはとても強く思うように勝てない日々の連続でした。

練習を重ね、チームに和が生まれはじめた頃、草津市でA級に昇格。その後は各大会で輝かしい足跡を残しました。

なかでも平成13年には実年の部（50歳以上）全国大会に滋賀県代表で出場を果たし、夢を叶えました。また草津市の姉妹都市である四国観音寺市、群馬草津町との交流試合を兼ねた家族旅行も企画し姉妹都市との親睦も深めを行い、試合のない毎週日曜日は午前9時から12時まで練習。その後、ビールを飲みながら反省会を兼ねた楽しい宴会。今年も夏まつりには「焼きそば屋」を出店し地域住民とのふれあい活動をしていきます。

第10回全日本実年大会入場式
（平成13年下関市で）

明るく、楽しく、元気の出るチームを目指すわがソフトボールクラブに興味のある方はぜひ一度グランドへ。

【連絡先】若草ソフトボールクラブ会長中尾駿一（若草6の6の18）電話564の6077

現在、部員は約35人（平均年齢55歳）年間約20試合ています。

公民館だより

定期講座の募集

■紳士淑女の井戸端会議

「癒しと和みを求めて パート2」では、中高年の方を対象に、毎日の生活に潤いとやすらぎを求めて交流の輪を一層広げてもらう目的で左記の通り講座を開催します。多数のご参加をお待ちしています。

▽第1回　9月25日（土）10時～12時「気功で心身ともリラックス」
▽第2回　10月23日（土）10時～15時（昼食休憩1時間）「草木染めの小物づくり」
▽第3回　11月27日（土）9時30分～12時「口切りの茶懐石」

※受講料は3回で900円（材料代は別途実費負担）

受講ご希望の方は7月31日（土）までに受講料を添えて志津南公民館へお申し込み下さい。

公民館にサツキ盆栽
来館者を楽しませる

廊下に展示されたさつきの盆栽

4月末から先月末まで公民館の一角にサツキ盆栽が展示され、公民館利用者の目を楽しませました。

若草3丁目の北村浩利さんが丹精こめて育てたサツキ70鉢を展示したもので、北村さんは、花の咲き具合を見ながら順次取り替え、毎日欠かさず水やりに来館して下さいました。

和室廊下の出窓に並べていましたが、色とりどりの見事なさつきが咲き競っているさまに、公民館を訪れた人たちは感嘆の声をもらすなど、ちょっとした“サツキ展”のようでした。

北村さんは「来年はもっと早くから飾ってみたい」と話しており、来年も来館者の目を楽しませてくれそうです。